

1. Visual Studio の開発環境構築

以下のリンク先にある使用許諾契約「Microsoft Visual Studio Community 2026」を確認してください。
比較的規模の大きな法人・機関等の場合で、製品開発を行う場合には、有償の「Professional 版」または「Enterprise版」が必要です。

<https://visualstudio.microsoft.com/ja/license-terms/>

1-1 Microsoft Visual Studio Community のライセンス条項（概略）

Visual Studio Community が使えない場合の多くは、「エンタープライズ組織」で使うまたは使う予定の製品開発を請け負っているかどうかです。
IT企業が開発作業を行う場合には、「Professional 版」または「Enterprise版」を購入する前提で考えてください。

1) Visual Studio Community について

Visual Studio Community は、無償ですべての機能を搭載したあらゆるプラットフォームやデバイスのエンタープライズ（※）向けではないアプリケーション向けのIDEです。Visual Studio Community はエンタープライズ向けではないアプリケーションを作成するためのパワフルで生産性の高い機能や、Windows や iOS や Android 向けのモバイル アプリケーション開発ツールや、多数の拡張機能にアクセスすることを含んだすべての機能を保有しています。

※ 大企業や中堅企業、公的機関など、複数の部門で構成されるような比較的規模の大きな法人・機関という意味で「エンタープライズ」という語が用いられています。またその組織とは、PC 台数 250 台以上または年商 100 万ドル（約 1 億円）以上を有する場合を指します。

2) Visual Studio Community が利用可能な者

Visual Studio Community の製品使用权は以下に説明するような顧客セグメントと利用シナリオに依存します。

個人開発者

あらゆる個人開発者は Visual Studio Community を利用でき、無償または有償のアプリケーションを作成できます。

組織

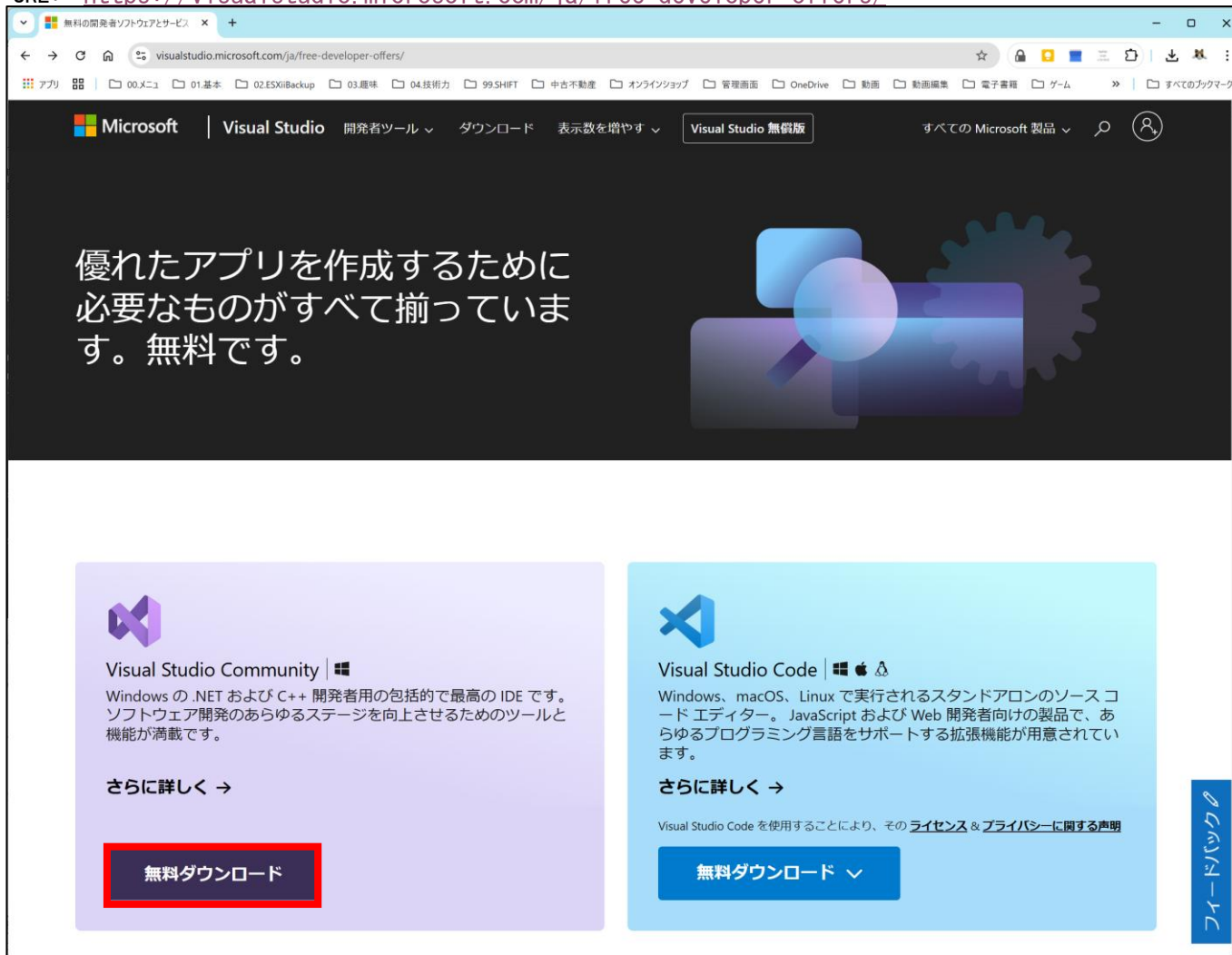
- ・ 以下のシナリオでは Visual Studio Community を利用者数に制限なく利用することができます：
教室の研修環境、学術的調査、オープン ソース プロジェクトへの貢献
- ・ その他のすべての利用シナリオ：
エンタープライズではない組織において 5 ユーザーまでは Visual Studio Community を利用できます。エンタープライズ組織は上記の教室の研修環境、学術的調査、オープン ソース プロジェクトへの貢献以外では従業員や請負契約者ともに利用を認められません。

1-2 インストール

1) ダウンロード

以下からVisual Studio Community をダウンロードしてください。

URL: <https://visualstudio.microsoft.com/ja/free-developer-offers/>



The screenshot shows the Visual Studio website's free developer offers page. The browser address bar shows the URL <https://visualstudio.microsoft.com/ja/free-developer-offers/>. The page header includes the Microsoft logo, 'Visual Studio', and navigation links like '開発者ツール', 'ダウンロード', and '表示数を増やす'. A large banner with the text '優れたアプリを作成するために必要なものがすべて揃っています。無料です。' (Everything you need to create great apps is all here. Free.) is displayed. Below the banner, there are two main sections: 'Visual Studio Community' for Windows and 'Visual Studio Code' for Windows, macOS, and Linux. The 'Visual Studio Community' section has a red box around the '無料ダウンロード' (Free Download) button. The 'Visual Studio Code' section has a blue button with the text '無料ダウンロード' and a dropdown arrow. A vertical blue button labeled 'フィードバック' (Feedback) is on the right side.

Microsoft | Visual Studio 開発者ツール ▾ ダウンロード 表示数を増やす ▾ Visual Studio 無償版 すべての Microsoft 製品 ▾

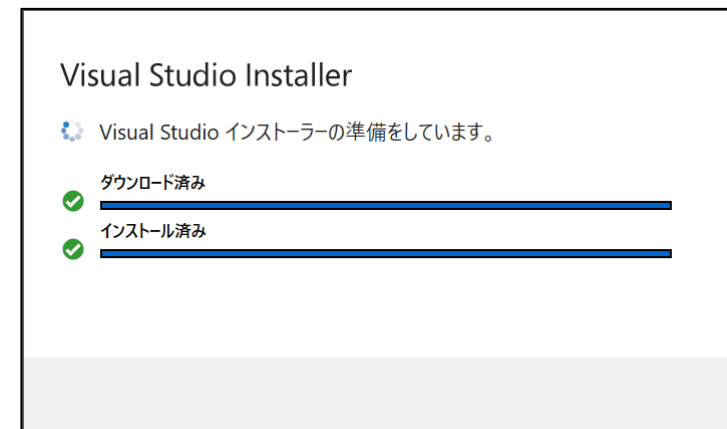
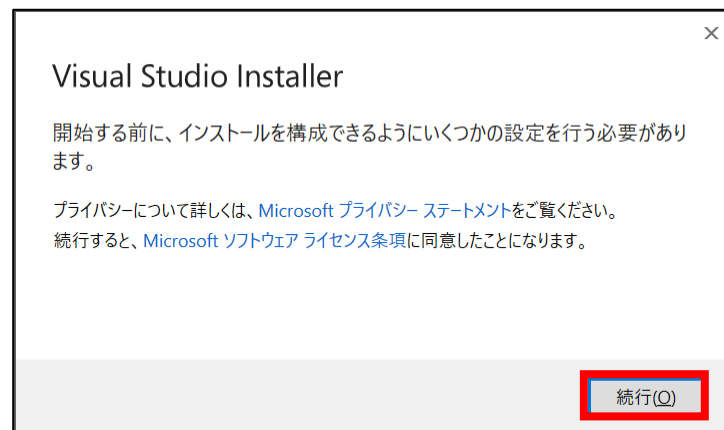
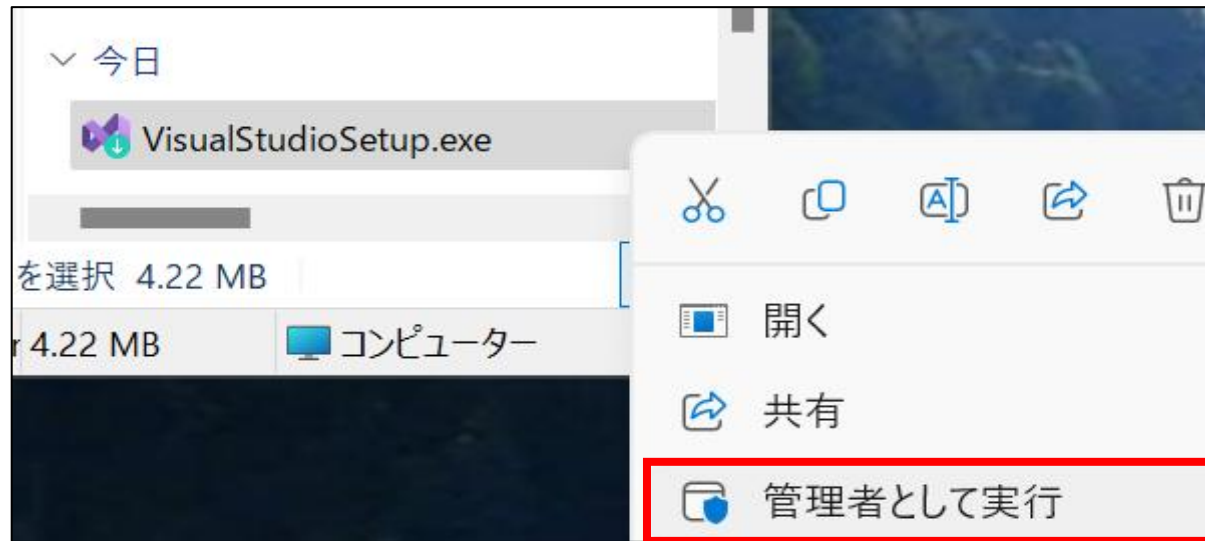
優れたアプリを作成するために必要なものがすべて揃っています。無料です。

Visual Studio Community | Windows
Windows の .NET および C++ 開発者用の包括的で最高の IDE です。ソフトウェア開発のあらゆるステージを向上させるためのツールと機能が満載です。
さらに詳しく →
無料ダウンロード

Visual Studio Code | Windows, macOS, Linux
Windows, macOS, Linux で実行されるスタンドアロンのソースコードエディター。JavaScript および Web 開発者向けの製品で、あらゆるプログラミング言語をサポートする拡張機能が用意されています。
さらに詳しく →
Visual Studio Code を使用することにより、その [ライセンス](#) & [プライバシーに関する声明](#)
無料ダウンロード ▾

フィードバック

- 2) インストール
インストーラを管理者として実行します。

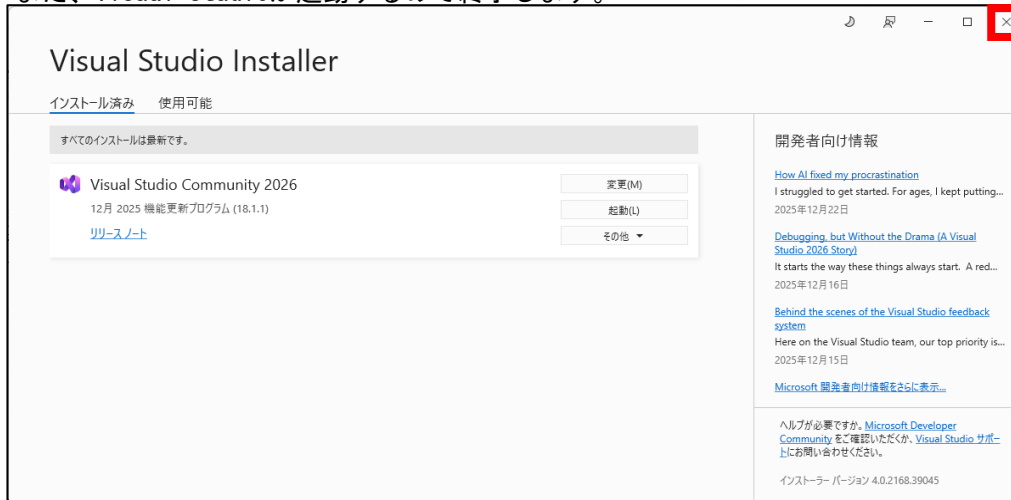


以下が表示されます。

「ワークロード」タブで、「.NET マルチプラットフォーム アプリのUI開発」にチェックをつける。それ以外にはチェックしない。チェックをつけ終わったら「インストール」を押下します。

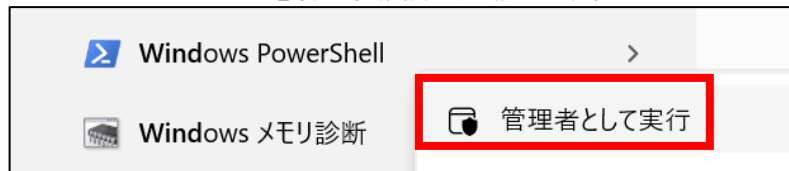


インストールが完了すると、以下が表示されます。「×」を押して終了します。また、Visual Studioが起動するので終了します。



3) Prism .NET MAUIテンプレートのインストール

Windows Power Shellを管理者権限で起動します。



.NET環境へ「Prism .NET MAUIテンプレート」をインストールし、Visual Studioのメニューから選択できるようにします。

```
dotnet new --install Prism.Templates::8.1.97
```

実行結果

```
選択管理者: Windows PowerShell
Windows PowerShell
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.

新機能と改善のために最新の PowerShell をインストールしてください!https://aka.ms/PSWindows

PS C:\WINDOWS\system32> dotnet new install Prism.Templates::8.1.97

.NET 9.0 へようこそ!

SDK バージョン: 9.0.100

テレメトリ

.NET ツールは、エクスペリエンスの向上のために利用状況データを収集します。データは Microsoft によって収集され、コミュニティと共有されます。テレメトリをオプトアウトするには、好みのシェルを使用して、DOTNET_CLI_TELEMETRY_OPTOUT 環境変数を '1' または 'true' に設定できます。

.NET CLI ツールのテレメトリの詳細をご覧ください: https://aka.ms/dotnet-cli-telemetry

ASP.NET Core HTTPS 開発証明書をインストールしました。
証明書を信頼するには、'dotnet dev-certs https --trust' を実行します
HTTPS の詳細情報: https://aka.ms/dotnet-https

最初のアプリを作成するには、https://aka.ms/dotnet-hello-world を参照してください
最新情報については、https://aka.ms/dotnet-what's-new を参照してください
ドキュメントを探すには、https://aka.ms/dotnet-docs を参照してください
GitHub で問題の報告とソースの検索を行うには、https://github.com/dotnet/core を参照してください
'dotnet --help' を使用して使用可能なコマンドを確認するか、https://aka.ms/dotnet-cli にアクセスしてください

次のパッケージがインストールされます:
  Prism.Templates::8.1.97

成功: Prism.Templates::8.1.97により次のテンプレートがインストールされました。
テンプレート名      短い名前      言語      タグ
-----
Prism .NET MAUI App      prism-maui      [C#]      MAUI/Android/iOS/macOS/Mac Catalyst/Windows/Tizen
Prism Blank App (Uno Platform)      uno-blank      [C#]      Prism/Xamarin/Uno Platform/WebAssembly/iOS/Android/WinUI/UWP
Prism Blank App (WPF)      wpf-core-blank      [C#]      Desktop
Prism Blank App (Xamarin.Forms)      xf-blank      [C#]      Prism/Xamarin/Xamarin.Forms
Prism Full App (WPF)      wpf-core-full      [C#]      Desktop
Prism Module (WPF)      wpf-module-core      [C#]      Desktop
Prism Module (Xamarin)      xf-module      [C#]      Prism/Xamarin/Xamarin.Forms

PS C:\WINDOWS\system32>
```

4) .net 10.0 のインストール

以下から、.net 10.0 のインストーラをダウンロードします。通常はWindowsのx64版になります。「x64」を選択するとインストーラがダウンロードされるので、インストールします。

<https://dotnet.microsoft.com/ja-jp/download/dotnet/10.0>

Microsoft | .NET .NET が選ばれる理由 機能 学習する ドキュメント 表示数を増やす ライブアラビ

ホーム / ダウンロード / .NET / 10.0

.NET Conf 2025 を見逃しましたか オンデマンド ビデオを使用して、楽しく教育的な .NET セッションをすべて確認できます。 [ビデオを見る](#)

.NET 10.0 のダウンロード

お探しの情報ではありませんか? その他のオプションについては、[ダウンロード](#) ページをご覧ください。

10.0.1

[リリースノート](#) 最新リリース日 2025年12月9日

アプリのビルド - SDK の ASP.NET Core ランタイム の

SDK 10.0.101

| OS | インストーラー | バイナリ |
|---------|--|--|
| Linux | パッケージマネージャの手順 | Arm32 Arm32 Alpine Arm64 Arm64 Alpine x64 Alpine x64 |
| macOS | Arm64 x64 | Arm64 Alpine x64 |
| Windows | x64 x86 Arm64 winget の手順 | x64 x86 Arm64 |
| すべて | dotnet-install scripts | |

アプリの実行 - ランタイム の ASP.NET Core ランタイム 10.0.1

ASP.NET Core ランタイムを使用すると、既存の Web/サーバーアプリケーションを実行できます。Windows では、.NET ランタイムと IIS サポートを含むホスティングバンドルをインストールすることをお勧めします。

IIS ランタイム サポート (ASP.NET Core モジュール v2) 20.0.25323.1

| OS | インストーラー | バイナリ |
|-------|-------------------------------|--|
| Linux | パッケージマネージャの手順 | Arm32 Arm32 Alpine Arm64 Arm64 Alpine x64 x64 Alpine |

フィードバック

インストーラを実行

Microsoft .NET SDK 10.0.101

.NET SDK

.NET SDK は、.NET アプリケーションをビルド、実行、テストするために使用されます。機能の豊穡、エディター、開発者ツールから選択し、ライブラリの大規模なエコシステムを利用して、Web、モバイル、デスクトップ、ゲーム、IoT 用のアプリケーションを作成できます。ぜひご利用ください。

.NET 10.0 を Visual Studio と使用する場合は、Visual Studio 2025 18.0 以降が必要です。 [詳細情報](#)

インストールをクリックすると、次の条項に同意したものと見なされます:

[プライバシーに関する声明](#)
[レジストリの収集とオプトアウト](#)
[.NET のライセンス情報](#)

[インストール\(I\)](#) [閉じる\(C\)](#)



Microsoft .NET SDK 10.0.101

インストールが正常に完了しました

次の製品がインストールされました:

- .NET SDK 10.0.101
- .NET ランタイム 10.0.1
- ASP.NET Core ランタイム 10.0.1
- .NET Windows デスクトップランタイム 10.0.1

この製品は利用状況データを収集します
[詳細およびオプトアウトについてはこちら](#)

リソース

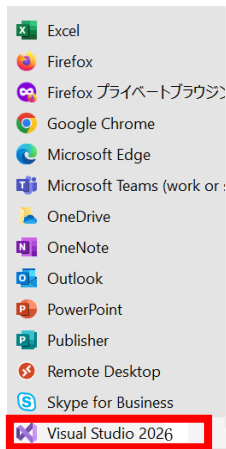
- [.NET ドキュメント](#)
- [SDK ドキュメント](#)
- [リリースノート](#)
- [チュートリアル](#)

[閉じる\(C\)](#)

5) Prism .NET MAUI テンプレートを使ったサンプルアプリの起動

①プロジェクト作成

Visual Studio を起動します。



「後で」を選択します。



「新しいプロジェクトの作成(N)」を選択します。



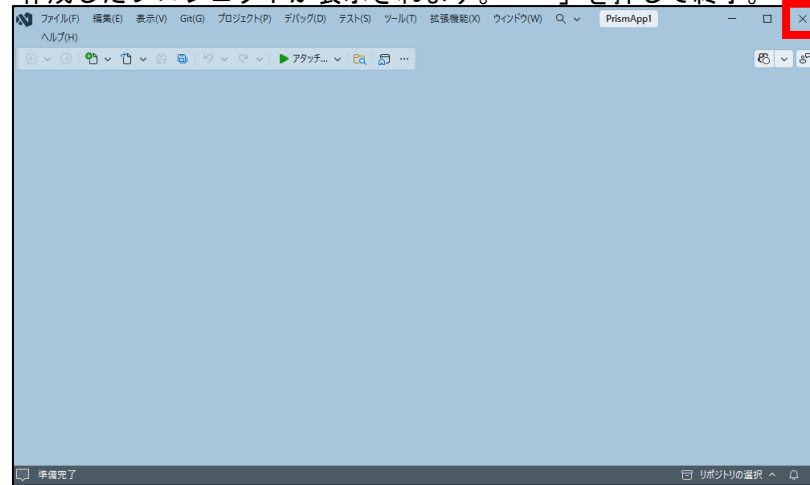
「Prism .NET MAUI App」を選択し、次へを押下



プロジェクト名と場所を任意に設定後、「作成 (C)」を押下する。



作成したプロジェクトが表示されます。「×」を押して終了。



②プロジェクトの修正

このプロジェクトは、.net6.0をターゲットにしていますが、.net10.0をターゲットにしないと動きません。

プロジェクトを作成したフォルダーにあるプロジェクトファイル（拡張子が.csproj）をテキストエディターで開いて書き替えます。

■修正前

```
<TargetFrameworks>net6.0-android;net6.0-ios;net6.0-maccatalyst</TargetFrameworks>  
<TargetFrameworks Condition="$([MSBuild]::IsOSPlatform('windows'))">$ (TargetFrameworks);net6.0-windows10.0.19041.0</TargetFrameworks>
```

■修正後

```
<TargetFrameworks>net10.0-android;net10.0-ios</TargetFrameworks>  
<TargetFrameworks Condition="$([MSBuild]::IsOSPlatform('windows'))">$ (TargetFrameworks);net10.0-windows10.0.19041.0</TargetFrameworks>
```

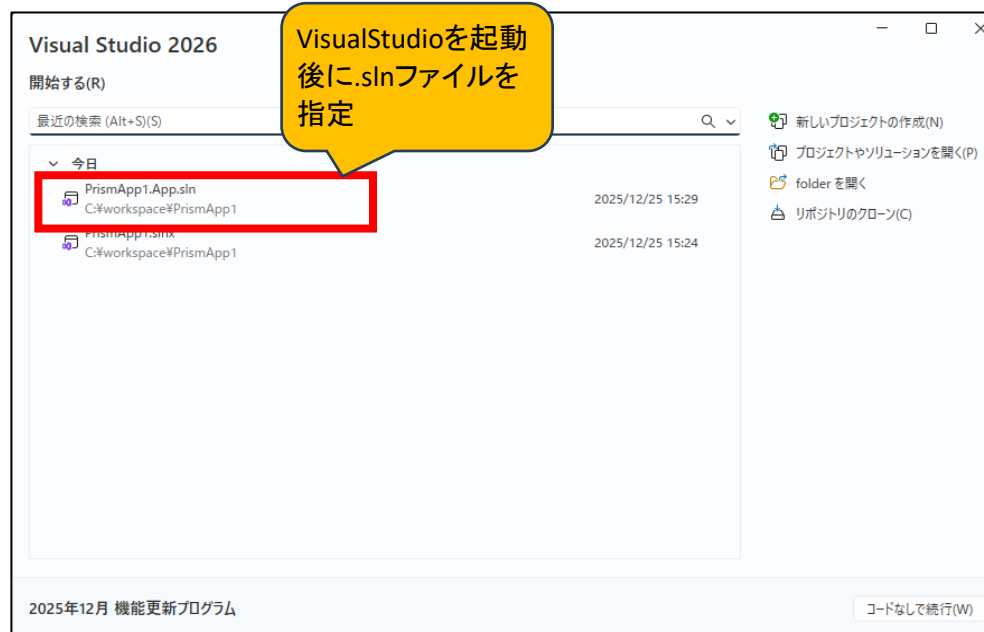
③ 実行

「Prism .NET MAUIテンプレート」は、.slnx形式のソリューションファイルに対応していないので、

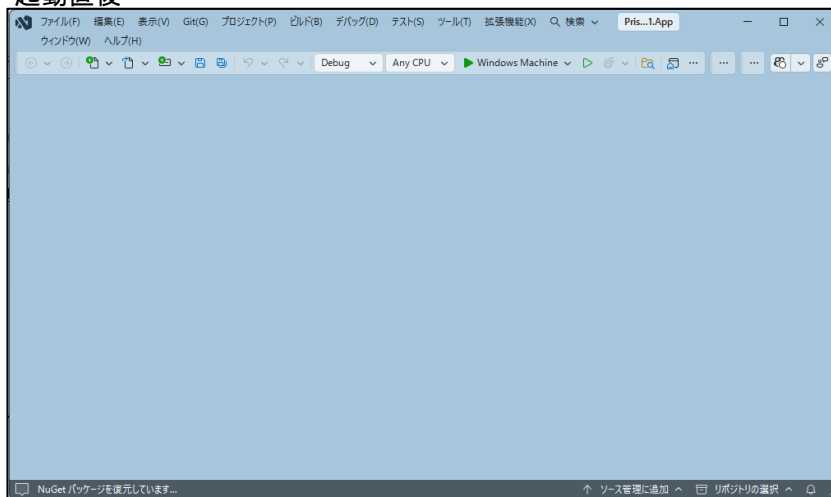
「PrismApp1.App.sln」のような.sln形式のソリューションファイルをエクスプローラ上でダブルクリックするか、VisualStudioを起動後に選択しま



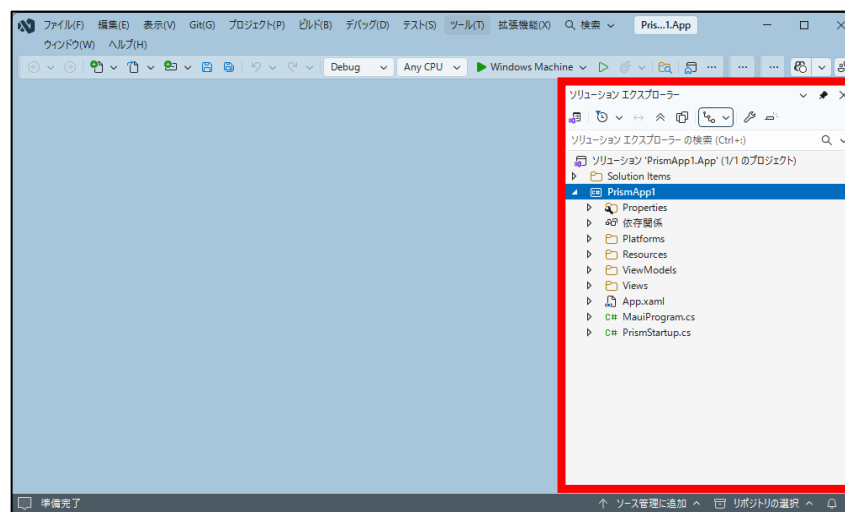
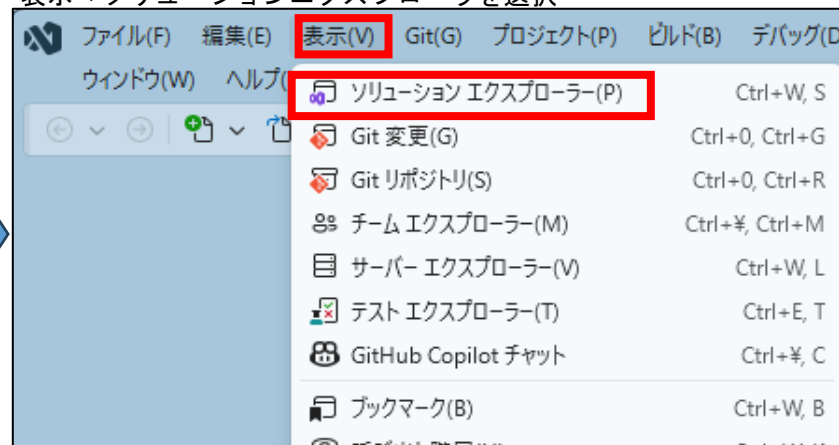
または



起動直後



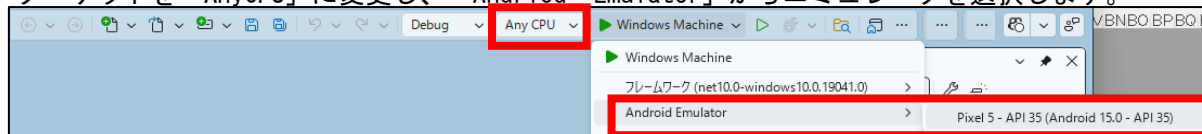
表示⇒ソリューションエクスプローラを選択



以下は、Androidの例です。

ターゲットの変更

ターゲットを「AnyCPU」に変更し、「Android Emulator」からエミュレータを選択します。



また、以下のようなSDKのインストール画面が出たら、「同意」を押下してインストールします。



ビルド

「ビルド」→「ソリューションのクリーン」をしてから「ビルド」→「ソリューションのビルド」を実行します。

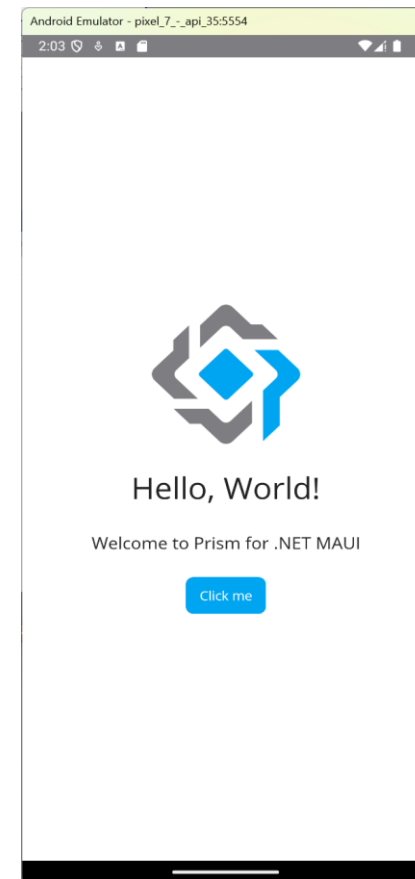
エラーがないことを確認します。

実行

▶ を押下して、デバッグ実行します。

実行結果

PCのスペックによっては、Androidシミュレータの起動まで、かなり待たされます。



実行結果

以上